

医師住宅の修繕が安く済んだので差額分を減額した。

環境衛生費

Q 負担金補助は合併浄化槽設置費、四百十五万四千円減額になっているがその理由は。

A 浄化槽設置件数が見込みより少なかった。五人槽が十七基、七人槽が二十三基、十人槽が二基計上していた。実績で五人槽が二十四基、七人槽が十基、十人槽が0基となり減額となった。

成又熊野浦線用地購入費

Q 成又熊野浦線の用地、田んぼの用地代と思うが、削減している理由は。

A 二十万円の減額は山林部分の購入を予定していたが、交渉の中で、契約の決定までに至らなかった。

崖崩れの対策事業

Q 減額の理由は。

A 危険な所を、早期に対応するために、ある程度の枠を持つて予算を組んでいる。当初一千万円だったが、最終的に、二千七百万円の予算を計上した。しかし、県補助金の関係や受益者負担の関係等で地元との調整がつかなかったという部分があり減額した。

県道の除草作業地域委託

Q 三十五万円の減額と県管理河川の除草等の委託、百万円の減額の理由は。

A また、直接県からの委託となっても、事業の委託の窓口は町にやってほしい。

A 県道の除草作業は、県から町が委託を受け、町から地元へ委託をして対応していたので、今年度も十九年度と同額予算を計上したが、県が委託料を三十五万円減額した。

県の管理河川の減額百一万円は、十九年度並みに計上したが、二十年度からは、町を通さずに、県が直接委託することになったための減額。

直接県が地域へ委託するとしても、窓口は町がやっていく。

繰越明許費

Q まちづくり交付金事業は去年の九月に繰り越しが出た。これだけの予算をなぜ消化できないのか。人手が足りないからか。

A また、小学校の耐震診断内容と、繰越の理由は。

A 事業を発注した段階で、工事期間が事業費、事業行使等から見ても、なかなか困難というところで翌債の繰越となった。

小学校の耐震診断方法は、かなり詳細なやり方。建築年度や老朽化には、コンクリートの強度、鉄筋の腐食、校舎の沈下等々を調べるために、コアを抜いて判断等をする。公的な機関に診断結果を委ね、評定をいただくもの。残った耐震診断の校舎、体育館の繰り越し期間を、五月三十一日に行っているの、結果が次第総合的に検討をする。

平成二十一年度

一般会計予算

学校給食費滞納金の収入

Q 滞納繰越分が五十万円あるが確実に回収できる見込み

か。学校給食には多額の一般財源の持ち出しが必要。その上滞納があつては、逼迫した財政の負担が増える。徴収をどうするのか。



佐賀 なぶら公園